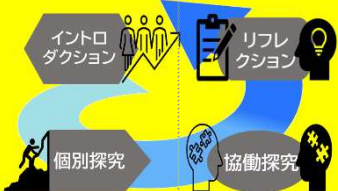


令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム【手稲中央小学校】

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：27501

「学ぶ力」			
実 態	成 果 ◇安心な学級づくりを意識し、より学習に参加する姿が見られるようになった。 ◇関わりを大切にした授業づくりにより、考えを交流しながら学ぶ姿が増えた。 ◇主体的な学習活動の導入により、考えをもって学習に向かうことができた。 ◇環境の調整により「できた」「分かった」という実感をもって学ぶことができた。	課 題 ◇友達の考えを最後まで聴き、互いの考えをつなぎながら学ぶ力 ◇苦手なことにも粘り強く取り組み、学びに向かう力。 ◇基礎的な学力を土台として学びを深めていく力。 ◇自分の考えを言葉で表現し、学びを深めていく力。	
	「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題		
	◇学習の理解度と楽しさの自己評価が高く、学習に対して前向きな姿勢が見られる。他者と協働的に学ぶことに、安心感を抱いている子が多い。（現状） ◇自らの理解度のメタ認知と計画性という自律的な学習姿勢に課題がある。粘り強さにも課題が見られる。心理的安全性と相談スキルに乖離がある。（課題） →「心理的安全性」を学級につくり仲間と関わり合いながら学ぶことで、相談できる場や関係性の構築と、学習におけるメタ認知の経験が必要である。		
	「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力		
信頼をベースに、他者と関わりながら学びを深めていく力			
取 組	課題探究的な学習の推進 に向けて ◇研究主題【安心して学びに参加し、自信をもって学びを深める子ども】の実現 →子どもの姿を起点に事実を持ち寄りながら語り合い、子どもの学びの状況を丁寧に見取る。 →研究グループで実践や考えを広げ、全体共有で視点をつなぎ、学年ブロックで自分の実践を決定し授業改善を進める →日常の授業で実践し、その結果を再び共有することで、子どもの学びの変容を捉えながら実践を見直していく。 ◇研究の土台「安心して学べる学級づくり」の実現 →子ども同士の関係性を大切に、互いの考えを安心して表現しあえる学級づくりを進める。	自治的な活動の充実 に向けて ◇高学年の活躍が見える児童活動 →委員会やクラブ活動などの異学年交流の中心となることで、下級生に憧れられる高学年の姿を実現。 ◇個々の活躍が光り子どもの思いが実現できる集団づくり →学級会や係活動の充実。行事に関わり異学年の教え合いやメッセージの交換など、個々のよさを認め合う場づくり。 ◇G T、地域のこども未来応援団の主催の活動などを通して、自分たちが多くの人たちに応援してもらっている実感が得られるようにする。	
			
	「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について		
	◇Chromebook を活用した「協働的な学び」の充実 →クラウドツールにより他者の考えに触れる頻度を高くし、互いの意見を比較・吟味する機会を増やす。 ◇デジタルポートフォリオを用いた「リフレクション」の充実 →学習の履歴や振り返りを蓄積し、過去の自分と比較させることで、自律的な学びを支えるメタ認知の力を高める。		

＜本プログラムの実行に向けて＞

新年度	〔一人一人の教職員〕	〔学校全体〕	次年度へ
◇本プログラム共有 ・職員同士の交流（月1回） ・HP掲載 ・パートナー校間研修	◇日常の授業・教育活動 ◇安心して学べる学級づくり ◇各自の研修…札教研、研修会への参加	◇研究×ブロックの2軸の循環 ◇公開授業／校内研修 ◇子どもの育ちを共有 ・学年研修、パートナー校	◇学校評価 ◇成果と課題を共有 ・研究全体会（3月中旬）